

NJ素流協 News

令和6年5月10日 第232号

令和6年5月10日発行・発行所 ノースジャパン素材流通協同組合 〒020-0024 盛岡市菜園1丁目3-6 (農林会館5階)
 TEL 019(652)7227 / FAX 019(654)8533 / <https://www.soryukyo.or.jp>

NJ素流協 令和5年度 第2回 林業講演会を開催 (後編) 第2部 意見交換の部

NJ素流協は3月14日、令和5年度第2回目の林業講演会「素材生産が安定・安心してできるウッドチェーンの取り組み」を盛岡市で開催した。先月号に引き続き、第2部意見交換の内容をお伝えする。

【司会】

NJ素流協

理事長 鈴木 信哉

【パネリスト】

株式会社 モリアゲ

代表取締役 長野 麻子 氏

株式会社 ADX

代表取締役 安齋 好太郎氏

NJ素流協 鈴木理事長(以下 鈴木)

それでは、私が個人的に聞きたいと思ったことを伺います。まず、長野さんにお聞きします。木材利用促進協定について、あまり数が増えな

いんです。ミニストップの木材利用の話がありますが、とりわけ、セブインレブやローソン、ファミマといった他のコンビニも協定を結んでは…?ということもモリアゲの仕事の一つとしてできないでしょうか。



NJ素流協 鈴木信哉理事長

(株)モリアゲ 長野氏(以下 長野)

おっしゃる通りで、セブインレブは、私が林野庁現役時代にウッドチェーンをやるうとしたのですが、補助がなくなったら作らなくなっ

しまったので、引き続きしぶとくやりたいと思っています。

鈴木 実は、セブインレブは、北海道は全部木造なんですけど、補助以外は外材なんです。ぜひ協定への取り組みをやってほしいです。その他にも、鉄、アルミ、プラスチック産業では、代表する企業があるので、そういったところが本気で木造に…という働きかけをしていただくと、おそらく、皆さんモリアゲにもっと協力的になるのではないかと思います。

長野 はい！頑張ります(笑)!!おっしゃる通りで、木だけでビルは建たないので、そこは適材適所で、まさに鉄ともコラボしたり、国産材の部材開発ってまだまだ足りないと思うんですね。安齋さんが講演でおっしゃったような作り方も含めて、もっと木造を今後のライフスタイルに合わせるために、鉄、プラスチックなどの関係の人も含めて色々やっていく必要があると思うので、「巻き込んでいく」ということをぜひ、していきたいと思えます。

(株)ADX 安齋氏(以下 安齋)

こから少し横にいった話をしていいですか?ちょうど今、某鉄屋さんと木造建築と一緒にやっているんですが、高層ビルすべてが木造というのは危ないんですよ。どうやって共存していくかということを一先懸命考えています。要は、木造と、鉄、コンクリートのグラデーションの最適解を作っていくということが重要で、鉄やコンクリートが悪いと排他的にするのではなく、「長い時間建築をもたせるためには、両者手を握り合っていくこうね」というのを考えています。

長野 そう思います。

安齋 だからこそ、最適解を見つけていくということが重要なことだと思っているんですが、今動いている会社さんは結構いるので、そういう面では前進しているかなと思います。長野 そうですね。木くずを混ぜたコンクリートとかの話も聞いたりします。

鈴木 次に、安齋さんにお聞きしたいのは、私が仕掛けてうまくいかな

いのが、「大学の建築学科で木造建築を教えられる先生が揃えられない、それなら、サマースクールのようなものを作って単位を与えたら?」という話をしたら、複数の大学が主導権争いでもめて実現していないんです。大学の建築の教育で、木造を教えるという活動をだれか建築の世界でやっていないでしょうか。

安齋 学部同士とか、色々小さなポーションでは動いていますね。ただ、大きな動きはまだかなと思ってます。そもそも、おっしゃっていただいたように、大学の先生が木造を知らないのでは、教えきれないですし、教えようと思っても、最近、大型木造が増えてきたので知見はたまってきたものの、その前の歴史がないので、低層の木造の話しかない。木造Ⅱ2級建築士、もしくは、木造Ⅱ住宅2階建てみたいな知識しかないんですね。なので、彼らが勉強しない限り教えることは難しいと思います。ただ、それを、「教えないといけない」という世の中の圧はかかってきているので、きちんと教えられる

人は生まれてくると思います。少なからず、我々は、社員教育を含めて内部・外部の講習を入れたりしています。木造建築を学びたい、教えたという人たちが集まってきているのは確かです。

鈴木 はい、わかりました。他にも、最近、木造の庁舎とかが建ってきているのですが、私が見ている感じでは、外にある自転車置き場の屋根やゴミ箱といった備品になると、庁舎の設計士は関われないと言って、非常に木質化のバランスが悪いのですが、そういった点についてはどうですか。

長野 公共建築を木造化するということをやっていた時も、小物が取り残されてしまつて…。この前も林野庁で、試設計で、倉庫をウッドチェンジする設計図を出していました。ですので、そうした商品が出てくれば、採用できるんじゃないかと思えます。木の商品やサービスを生み出すしていくことが大事だと思いますし、全体のデザインで「ここは木なのにここは違う。なんで?」という残念

な感じのものも結構ありますので、全部が木だから良いというわけではなく、やはりバランスかなと思いますが、各地で色々作っても良いんじゃないかと思えます。



(株)モリアゲ 長野麻子氏

鈴木 ありがとうございます。安齋さん、建物の設計をする人は、トータルデザインのなどには触れないのでしょうか?

安齋 いや、触れなくはないと思いますよ。少し論点がずれるかもしれませんが、木造建築を作らなければならぬⅡ木目を出さなくてはいけないという風潮はまだあるんです。でも、この会場の建物って何構造か分かりますか?木造ですか?鉄骨で

すか？RCですか？分からないですよね。やりたいことのまず1つは、今育ててきた森が「使われる」ことが優先ですね。「使われる」の次に、それが価値のある木材になっていく。：節があったら見せたい、強度が強かったら梁材に使いたいといった色々なバリエーションを増やしていく許容が欲しいと思うんです。見た目が木なのかそうでないのが優先になりすぎて、デザイン・設計の人たちがやりにくいという状態があります。木造率ではなく、木質率を高めることは、一つの出口につながるのではないかと思っています。

鈴木 私はいつも、立派な木造庁舎に行くと思うのですが、トイレとか行くと、何一つ木質感が無いんですね。そういったところの内装等は、木造設計に携わる上で、やったことありますか？タオル掛けをクリにする。：とかのイメージなのですが。
安齋 そうですね、トイレという用途で限った場合、やはり衛生的であるもの、きちんとケアができるもの、ということがベースにありますので、

腰壁に木は、私は使わないかもしれないです。腰壁から上、例えば、水が跳ねない場所は木でというデザインはよくやりますが、木の魅力を半減させるような無理なデザインにしないということは心掛けています。木を使うことに固執してしまうと、木のパワーがありすぎて、木が嫌いになってしまいう人も生まれてくるんじゃないかと思うので、長く見た時に、木の良さをちゃんと表現するよいうなデザインにしてほしいと思います。

鈴木 実は個人的に、トイレのメーカーに働きかけているので、そのうち関連商品が出てきたら使っていたかと良いかもしれませんね。

安齋 そうですね、トイレに使う腰壁の木が、「ただの無垢材だけです」ではないと思うんですね。広葉樹みたいなハードウッドになって、そこにUV加工なり汚れをはじくものがあるれば、それは使ってもいいんじゃないかと思うんですが、スギのように吸収率が高いものは熱も水分も吸収するので、使い方は真剣に考えた



(株)ADX 安齋好太郎氏

ほうがいいなと思っています。

鈴木 人気がとても下がったケヤキもありますので、そういった点も色々考慮してメーカーにはお話ししているところですよ。

長野 セブンさんに最初、木造でやると言った時に、一番気にされたのが、コストはもちろんですが、メンテナンスでした。メンテはコンクリートにもプラスチックにもあるじゃないですか、やっぱり「木の適切なメンテ」を、我々業界からもセットで、きちんとサービスとして出せるようになるればもつと広がると思います。
鈴木 はい、分かりました。次の質問ですが、長野さんに、先ほど講演

で、高知県の税制優遇措置の話が出ましたが、各県の先進的な取り組みをまとめて、県の名前を出して順位をつけるとか：勝手にね(笑)。

長野 勝手にね(笑)。やりまじょうかね。今年やりますよ(笑)。

鈴木 役所だとできないことなので。：。

長野 確かにそうですね！それは民営化した意味があるので勝手にやってもいいかもしれません(笑)。

鈴木 特に、こういった先進事例は、実は製材業でも素材生産業でもそうですが、先頭を走ると苦労するんですよ。ぜひ先進的事例を取りまとめたいものを何かモリアゲとしてやってみてほしいなと思います。

長野 モリアゲ的勝手ランキングみたいな、どれだけ影響力あるか分からないですが(笑)。確かに林野庁だと角が立つてできないことをやってみたり、面白おかしくやってみたり方がいいと思うので、材木ラジオでもそういう話ができないか検討してみたいと思います。公務員を応援したいという気持ちがあって、すごく優

秀だし頑張っているんです。そういう人たちがもっと報われると、森にも良いことがあると思っていますので、モリアゲられるようなことをやればと思います。ありがとうございます。

鈴木 1位く47位とか膨大にしくても、複数県でまとめ、ランキングを縮めて見やすくするとか色々テクニクはありますね。

長野 上位だけ紹介するとかですね！
鈴木 では次に、安齋さんに、設計士の方がカタログで製品を選ぶという話をされていましたが、そのカタログは、やはり外材ばかりなんですか。

安齋 外材のカタログは多いですよ。まとめて購入しているのでカタログ化しやすいので、多いです。建築士が必要な情報がプロットされているという点もあります。最近だとCO2の固定量まで書いてあるんですよ。他にも、どうやって育ってきた木で何年生ですというのが分かるカタログが増えています。なので使いやしくて、品番が書いてあれば間

違わない。間違わないので、建築の人間としては、木を知らないからこそそれに準じて選んでしまうというフローです。

鈴木 ちなみに、カタログ会社は納材の大手毎に…という感じですか。それとも建設物価版みたいな感じですか。

安齋 いえ、例えば、ウッドワンさんのカタログでは、「ニュージーランド産の30く40年くらいの木を使っています。こんなことしています。なのでこの木を使うとこんな良いことがありますよ」ということがはつきりされていて、プラス、CO2の量も書いてあるのでそこも具体的に分かる。これって結構重要だなと思っています。社内でもとても勉強になっています。

鈴木 分かりました。カタログの作り方が上手いですね。

長野 その材を売る時の共通言語として、「スギーだから良いですよ」「ではなく、「こうだから良いんですよ」ということを山の方もきちんと情報を伝えて価値を上げていくのが大事



意見交換の様子
和やかなムードで意見が交わされました！

だと思えます。なぜかという、某国広葉樹協会は、いかに自分たちの広葉樹生産が自然に優しいかということを押スリリースや記者会見して、「だから安心して使ってください」つてやるんです。日本でクリーンウッド法とか改正すると、面倒くさいなど苦情が来ますが、その某国広葉樹協会は、「クリーンウッド法完全対応!!」つて規制があることを前提にそのウリをさらに超えて、お客さんが使いやすいようにするというをやっているんです。そういう努力を、国産材もつとしていったらいいし、トレーサビリティのコストは安いはずなので、価値に変えていくということが大事だとも思います。

安齋 「価値化する」つてすごく重要なことだと思っていて、木の話以外でも、例えば、苺の話でも、大きな苺か小さな苺かで規格があるじゃないですか。そして糖度もある。それで消費者が選べる選択肢が出てきますが、木材つてなると…例えば、「赤身が多いです!」と言われても、美味しいのか分からないです(笑)。結構難しいことも書いてあります。そのあたりの価値づけを、もう一手の届く人に分かるようにしてあげるだけでも木の良さは伝えられるんじゃないかと。今は、難しいので、伝えにくいものになっちゃっているんじゃないかと思えます。

長野 はい、そういうことの翻訳が大事なので、信哉さんの、素流協ニュース『気になる木・耳からウロコ』のような話が広がるのが重要ですよ。

鈴木 はい、今の話を聞いて思ったのが、昔の化粧等級というものがまだ、日本の木材市場に残ってしまっている(長野、安齋大きくうな

ずく、そのあたりにこだわりすぎているところもあります。だから新しい指標を作らないといけないかなと感じました。では、会場から何かご質問等あれば…。

* * * * *

【質疑応答コーナー】

Q 普段、民有林関係の仕事をしています。大きな問題の一つとして、「土地の問題」があり、ここを解決しないと何ともならないということが結構あります。土地の集約化も流

その対応をする専門的な組織を作つてやらないと出来ないと思います。家族がバラバラになって相続人が何十人もいたらもう処理できないので、これは早急にやらないと…。私がい

動化も進まない、林道もつけられず、森林の価値が高まっていかない部分があるといます。こうした土地問題について、おそらく鈴木理事長は

Q 主に安齋さんにお尋ねします。新技術というと、「特許」がつきまとう気がしているのですが、ADXさんでは、特許に対してはどのようにお考えでしょうか。

お考えがあると思うので伺いたいです。

安齋 あまり特許とかは興味がないですね。むしろ拡大していくための足かせになることで、自分たちの行き場が無くなるだけなので…。もちろん世の中に、特許があった方が良いものもあります。全部が取りたくない！というわけでなく、特許を取らない方が世の中の人のためになるなら、特許は取らないですね。囲い込むことって、昔、日本はよくやっ

たじゃないですか。技術が盗まれるくつ

て。そうではなく、技術を皆に開示することによって良くなる未来の方が良いよねというのがADX社の考えです。

鈴木

鈴木 では最後に、お二人に決意表明をお願いしたいです。川上・川中・川下は、連携しようとは言いますが、これは、連携が出来ていないからこそ連携しようと言っているんです。実は、木材需要を拡大するには、川下だけでなく、河口なんです。海に水が流れなくなっています。ということは、消費者や建物の発注者が、木造に国産材使いたいねと思うようなPRをしないといけない。意識改革をしてもらわないといけない。そのため

に何をしないといけないか、こういうことをやりたいという決意をお聞きしたいと思います。

長野 はい、おっしゃる通りで、私は、そういう意味では、川下でもなければ川外(かわそと)だと思っ

た今、カワウソ君をキャラクターにして、川外からモリアゲよう！って木材コーデイナー仲間をやっ

ています。我々プロフェッショナルの世界をいかに近づけて、翻訳して、応援団になってもらうかということを進めていきます。モリアゲ活動的には今、32か所なんです。今年中に47にして、全県制覇したいです。それと、川外の人が何に合意するかといったらやはり、「森をつなぐこと」なんです。これは、川上・川中・川下の人も皆合意できる話なので、森をつなぐという点で運命共同体になるために、川外の人はどうしたら森をつなぎたくなるのか。今のところ効果的だと思っているのは、とにかく森に連れていくことです。植林率もそうですが、植人率(しょくじんりつ)も上げていきたいと思っていますので、今年には皆でたくさん森に行きたいと思っています。

安齋

安齋 僕は結構地道で、「正確な正しいことを発信し続ける」ということ

をしたいと思います。良いことばかり言うのではなく、課題もちゃんとある。その課題も伝えていく。そして夢も伝えていく。地道ですが、それを伝えていくことがまずは正義

です。

鈴木

鈴木 私は秋田の上小阿仁村出身ですが、80軒あった集落のうち、次の日には10軒、その次の日には3軒という具合に、そのままお金を持っていく人に土地を売り渡した…という流れのところもあります。とりあえず親族がいる間、親族が分かっている間に解決しないといけないので、

その対応をする専門的な組織を作つてやらないと出来ないと思います。家族がバラバラになって相続人が何十人もいたらもう処理できないので、これは早急にやらないと…。私がい

つも言っていることですが、今はもはや限界集落ではなく、消滅集落状態です。やはり、特別な法律を作つて、期限を短くして解決していかないと難しいと思います。

Q 主に安齋さんにお尋ねします。新技術というと、「特許」がつきまとう気がしているのですが、ADXさんでは、特許に対してはどのようにお考えでしょうか。

安齋 あまり特許とかは興味がないですね。むしろ拡大していくための足かせになることで、自分たちの行き場が無くなるだけなので…。もちろん世の中に、特許があった方が良いものもあります。全部が取りたくない！というわけでなく、特許を取らない方が世の中の人のためになるなら、特許は取らないですね。囲い込むことって、昔、日本はよくやっ

たじゃないですか。技術が盗まれるくつ

て。そうではなく、技術を皆に開示することによって良くなる未来の方が良いよねというのがADX社の考えです。

鈴木

鈴木 では最後に、お二人に決意表明をお願いしたいです。川上・川中・川下は、連携しようとは言いますが、これは、連携が出来ていないからこそ連携しようと言っているんです。実は、木材需要を拡大するには、川下だけでなく、河口なんです。海に水が流れなくなっています。ということは、消費者や建物の発注者が、木造に国産材使いたいねと思うようなPRをしないといけない。意識改革をしてもらわないといけない。そのため

に何をしないといけないか、こういうことをやりたいという決意をお聞きしたいと思います。

長野 はい、おっしゃる通りで、私は、そういう意味では、川下でもなければ川外(かわそと)だと思っ

た今、カワウソ君をキャラクターにして、川外からモリアゲよう！って木材コーデイナー仲間をやっ

ています。我々プロフェッショナルの世界をいかに近づけて、翻訳して、応援団になってもらうかということを進めていきます。モリアゲ活動的には今、32か所なんです。今年中に47にして、全県制覇したいです。それと、川外の人が何に合意するかといったらやはり、「森をつなぐこと」なんです。これは、川上・川中・川下の人も皆合意できる話なので、森をつなぐという点で運命共同体になるために、川外の人はどうしたら森をつなぎたくなるのか。今のところ効果的だと思っているのは、とにかく森に連れていくことです。植林率もそうですが、植人率(しょくじんりつ)も上げていきたいと思っていますので、今年には皆でたくさん森に行きたいと思っています。

安齋

安齋 僕は結構地道で、「正確な正しいことを発信し続ける」ということをしたいと思います。良いことばかり言うのではなく、課題もちゃんとある。その課題も伝えていく。そして夢も伝えていく。地道ですが、それを伝えていくことがまずは正義

です。

鈴木

鈴木

かなと思っております。あともう一つの決意で言うと、我々は2027年までに約500haの土地を所有するので、川上く川下でちゃんと事業をするということをやります。きちんと回るのがいつになるかは分かりませんが、回して、動かすということをやったときに発せる言葉を大切にしたいと思っております。口ではなく、実行するというのがADXの力です。なので、「図面を書くだけでなく、物を作ります」というような形で、森でも、そのような表現をするということが決意表明かなと思っております。

鈴木 ありがとうございます。今日は、「素材生産が安定・安心してできるウッドチェンジの取り組み」という題名ですので、皆さんが安心して山で仕事ができて、かつ、今山村の中で唯一稲作機械を動かせるのは、素材生産業者の若手だけだということとを理解していただいて、引き続きウッドチェンジに取り組んでいただきたいと思っております。

講師の皆様、ありがとうございます!!

トピックス

Q & A 松くい虫の取り扱い

アカマツ等の伐採時期の終盤です。松くい虫の拡散防止にご協力をお願いいたします。

Q1 アカマツ等の健全木の伐採時期を確認したいです

県	被害地域区分	伐採時期
青森	被害発生市町村	10～5月
	被害発生隣接市町村	10～5月
	上記以外	6～9月の間は極力行わない
岩手	被害地域及び周辺地域の標高500m未満の地域	10～5月
	無被害地域及び上記以外	通年可能
宮城	区分なし	11～6月中旬
秋田	区分なし	通年可能
山形	区分なし	10～5月
福島	区分なし	秋口以降～5月

Q2 未被害市町村の健全木の流通の制限はどのようになっていますか?

A 青森県においては、6～9月の時期を除いて流通利用が可能です(他県産材の移入はできません)。

岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県においては、通年の流通利用が可能です。

Q3 被害発生地域の健全木の利用制限はありますか?

県	制限
青森	10～5月に伐採し、3月までにチップ工場に運び、5月までに所定のチップに加工して6月までに焼却する。
岩手	10～5月の伐採時期に限り、利用・運搬の制限なし。但し、松くい虫被害拡大を防止する観点から、健全木は松くい虫により変容が生じたと見込まれる松及び松くい虫潜在被害木を除くものとしているので、被害木周辺にある立木は被害木として取り扱うようお願いいたします。
宮城	健全木の利用制限なし。
秋田	
山形	
福島	

Q4 被害木丸太の利用条件はありますか?

Q4 回答

県	利用条件
青森	全て燻煙処理としており、利用及び市町村外への移動はできません
岩手	伐採は10～5月の間とし、6月20日までに駆除処理を行うこと
宮城	伐採は11～6月上旬の間とし、6月上旬までに指定工場等において駆除処理を行うこと
秋田	伐採は9～5月の間を推奨。6月上旬までに指定工場等において駆除処理を行うこと
山形	伐採は10～5月の間とし、6月末までに駆除処理を行うこと
福島	伐採は秋口以降とし、6月10日までに駆除処理を行うこと

Q5 その他取り扱いの注意点を教えてください

A 例えば、岩手県の被害地域等では伐採時期により、残材の薬剤散布・玉切り等の処理方法や枝条の取り扱いがそれぞれ決められています。また、青森県では、巻枯らしが禁じられている地域があるなど取り扱いの違いがあります。

詳細は各県所管部署にご確認ください。

**NJ素流協青年部会
令和6年度 第1回
視察研修 in 北海道**

当組合青年部会は令和6年4月18～20日の3日間、北海道にて、令和6年度の第1回視察研修を開催し、会員10名が参加しました。

19日は、北海道旭川市の旭川林産協同組合を視察し、組合主催の広葉樹の銘木市を見ることができ、宮島真事務局長から、組合の役割、銘木市について説明がありました。



銘木市は圧巻のラインナップでした

当日は市日ということもあり、道

内各地や本州、海外から集められた広葉樹、約3千㎡が並べられ、なかなか目の当たりにすることが出来ない、多くの樹種、品質を見ることが出来ました。

次に、北海道上川郡下川町、名寄市にて主にカラマツ、トドマツを製材、加工する三津橋農産株式会社(本社・下川町)の名寄工場を視察しました。名寄工場では一般製材、梱包材、パレット材を製材しており、三津橋孝仁代表取締役社長はじめ従業員の皆様にご案内いただき、それらの工程を見学しました。また、下川町役場産業振興課の伊藤拓馬氏より、下川町の森林・林産事業の現状や今後の展望の説明がありました。説明後は、道内や東北の木材の動向について情報交換を行い、とても貴重な時間となりました。

20日は北海道砂川市にて化粧品ブランドの「SHIRO」を製造する「みんなの工場」を視察しました。「みんなの工場」は化粧品の「SHIRO」の製品を製造する工場に、ショップ、カフェ、キッズスペースとラウンジ

などを併設した施設となっていて、多くの人の居場所となるよう「みんなの工場」と名付けられています。

「SHIRO」は農林水産省と「株式会社シロ」における木材利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結しており、「みんなの工場」の外壁は北海道北竜町のカラマツの間伐材を製材した耳付きの板が使用されていて、木質化が行われ、多くの人の居場所となっています。「みんなの工場」では、実際に、工場見学をされる方や、化粧品を購入される方や、カフェでランチをする方、読書や休憩をする方など多様な利用の仕方を見るこ



皆様、お疲れ様でした！

とが出来ました。
今回、視察にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

事例紹介

〜価値が分からない木でも
まずはお問い合わせを！〜

組合員様から、河川工事の際に掘り出された土埋木(広葉樹)について相談がありました。

市場では「チップにしかない」と言われたそうですが、土埋木の製材所に問い合わせたところ、製材用として落札されました。

一見価値が分からない丸太でも、まずは営業企画部までお気軽にお問い合わせください。

その際には、フォトソリューションの活用もご検討ください！

フォトソリューションは、組合員が素材生産や流通・販売、造林や育林などの事業を行うなかで、判別や判断に困ったときに、関連する写真を送付いただいで、当組合事務局が解決のお手伝いをする仕組みです。

ご利用は、以下のとおり

▽写真をデータでメール送付
▽郵送・持ち込み

送付方法(以下のいずれの方法でも可)

- メールによる送付
photo@soryukyo.or.jp
ノースジャパン素材流通協同組合
営業企画部 宛
- 郵送または持ち込み
〒020-0024
岩手県盛岡市
菜園1丁目3番6号(農林会館内)
ノースジャパン素材流通協同組合
営業企画部 宛

お知らせ

令和6年度全国安全週間
準備期間が始まっています

6月1日～30日を準備期間、7月1日～7日までを安全週間として、「令和6年度全国安全週間」が始まります。

今年度のスローガンは「危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全」です。

引き続き、労働災害防止活動に

取り組んでいただきますようお願いいたします。

他県に事業所移転した場合は、移転先での免税軽油の手続きをお忘れなく!

他県に事業所を移転した場合、移転先地域の県税事務所に免税軽油の申請手続きが事前に必要となります。「うっかり忘れた!!」となりますと、免税が受けられませんのでご注意ください!!

ホームページをお持ちの組合員様、リンクを掲載しませんか?

NJ素流協では、ホームページの「組合員紹介」ページに掲載するリンクを募集しています。

ホームページをお持ちの組合員様で、リンク掲載をご希望の方は、以下の情報をお送りください。なお、料金は無料です。

- (1)事業所名
- (2)ひとことキャッチコピー(40字以内)

(3)事業所のロゴ(ある場合) GIF、JPEG等組合ホームページに掲載できる画像形式)

お問合せ、お申し込みは経営企画管理部ホームページ担当までご連絡ください。

TEL: 019-652-7227
メール: keiei@soryukyo.or.jp

国有林委託販売今年度も始まりました!

令和6年度も国有林山元委託販売の取り扱いが決定しました。

早速、今年度第1回目として、岩手南部森林管理署の委託販売を4月25日に行い、続いて盛岡森林管理署の委託販売を4月30日に行いました。

入札の方法は「WEB入札」となります。ログイン用IDが必要となりますので、入札を希望される方は営業企画部までご連絡下さい。素流協ホームページからID発行依頼書をダウンロードすることもできますので、入札に参加ご希望の方は要チェックです!

NJ素流協 第21回 通常総会を開催します!!

ノースジャパン素材流通協同組合第21回通常総会を次のとおり開催いたします。皆さまの出席をお待ちしております!

【日時】5月27日(月)

* 通常総会

15時00分～17時15分

* 懇親会

17時30分～19時30分

【場所】ホテルメトロポリタン

盛岡 ニューウイング

【懇親会費】

会費 5000円



ちよつと気になる木の話

今年の木材需要回復は不透明？

―産学官のだけれもが明確に語らない―

山で素材生産している組合員さんから、

「大型工場の減産が続いているが、今年の見通しは？」と問い合わせがある。丸太を出材しても売れないのなら、山側も減産しなければならぬのか？である。冬場は、広葉樹が高く広葉樹山へシフトしたが、これからは伐り旬ではない。しかし、高価な高性能林業機械を購入している事業体は、稼働率を上げて、一定の収益を確保しなければならぬ。質問は当然である。

だれか書かないのか？実際は…だれも書かない。学者は、過去のデータ分析で、データがこういう数字の時はこうなるという分析である。官庁は、同様にデータ分析をするが、「産業界の見通しは意見としてまとめる。」として意見を列挙するだけである。産業界は、今売れている品物と価格の動向を日々示しているが、今後の年度見通しについては、自社利益を知られたくないので、明確な見通しを明言

することはない。一番気が楽なのは、戦後日本の木材需要を支えた新設住宅着工戸数の見通しから、あまり期待できないと予測することとなる。それでは山の人たちにとっては判断材料にならないんだよな。

今年の鍵は、花粉症対策による住宅供給者の国産材比率公表である！新設住宅着工戸数が落ちても、製材・合板の国産材比率50%からアップすれば、国内木材加工業界は、活性化することは明白である。外材+国産材が木材需要である。外材ダウンで、そのダウン量以上に国産材アップなら、今の問題は好循環に転じる。

まず、減産が続く合板工場である。最も国産材比率の高い構造用合板でも、有名住宅メーカーによっては、米マツ、ラワンに拘っている。3×6でない長尺合板でも、山側に特注丸太長級の供給を依頼すれば転換できる。そして、まだ50%ぐらいの国産材利用となっている複合床板基材としての合板の国産材利用のスピードアップが必要である。ましてや、今だに自給率一桁の型枠合板は、転換すれば需要は極めて大きいのである。

合板メーカーの営業もあるが、国の行

政としての利用団体（複合床板・ゼネコン）への働きかけは重要である。カーボンストックは、丸太の生産国付与である。ちなみに、国会議員選挙ポスター掲示板はアルミ製も多いが、カーボンニュートラルの時代には…？

集成材は、RW・WW、米マツ主体である。国産材比率は極めて低い。あちこちで新工場・増設工場が稼働を始める。ウッドショックで痛い目に遭った事後対応である。WW管柱とかは、スギ集成管柱でも何ら問題はない。

梁材もスパンが短ければ、スギ集成材でも問題はなく、長スパンならカラマツ、アカマツのフェイス・バックで対応できる。何といってもウッドショックで困ったハウスメーカー、プレカット業界への働きかけが重要である。

製材としては、最も困った2×4のディメンションランバーの国産材利用は加速化するが、2×8、2×10についてもJAS取得が鍵である。長スパンの話をしたが、平屋の倉庫、工場、畜舎等の木造率・国産材比率は極めて低い。径の細かい製材品利用のトラス工法の普及も鍵である。更に、とりわけ地方の工務店が拘る長年使い続けた米マツ、ロシアアカマツ、スプリースの国産材転換が鍵である。

家具業界も広葉樹から針葉樹利用に向かわざるをえないし、建具業界の高齢級スギ桁平に向かわざるをえない。YKK AP(株)が木製サッシに本格的商品化の流れもある。加えて、南洋材のアピトン等は、厳しくなるクリーンウッド法でいよいよである。

こう考えると、新設住宅着工戸数動向よりは、国産材転換比率の向上が今年のキーである。花粉症対策は、梅雨明け以降の回復に効果を表すと予測される。そこで、問題なのは日本国内の地域間バランス（競争）である。2024年問題のトラック運搬の課題もある。九州よりは東北の方が、最大需要の首都圏には近い。有利かなと勝手に思うが、そこには東北地方のまとまりが肝心である。県別で競争することも、ある意味ライバル感として完全否定はしないが、国産材転換では、県を超えて協力関係を結び、共同受注も必要である。素材生産では、尚更である。スギ・カラマツ・アカマツ・広葉樹の樹種、スギ高齢級材、スギ・カラマツ小径木等国産材転換で丸太の調達を前提にがんばる工場への丸太の安定供給は、県単位では困難である。

今年の素材生産業界は広域での情報流次第と言える。がんばりましょう!!

令和6年4月分の販売実績

樹種	合板・LVL用			製材・集成材・その他用			計		
	当月出荷量 (m³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)	当月出荷量 (m³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)	当月出荷量 (m³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
スギ	12,379	121.9	117.3	11,246	88.8	156.7	23,625	103.5	133.2
カラマツ	5,047	80.3	152.8	107	79.5	102.6	5,154	80.3	151.2
アカマツ	3,268	149.9	223.7	574	156.8	3,793.5	3,842	150.9	260.3
その他	0	*	*	149	56.2	91.4	149	56.2	91.4
合計	20,694	111.1	135.1	12,076	89.9	161.9	32,770	102.2	143.9

樹種	燃料用		
	当月出荷量 (t)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
スギ	4,114	129.3	89.1
カラマツ	3,034	87.9	91.4
アカマツ	2,398	241.6	80.6
その他	607	130.3	5,243.7
合計	10,153	125.4	93.0

樹種	今年度累計			
	合板・LVL用 (m³)	製材・集成材・その他用 (m³)	計 (m³)	燃料用 (t)
スギ	12,379	11,246	23,625	4,114
カラマツ	5,047	107	5,154	3,034
アカマツ	3,268	574	3,842	2,398
その他	0	149	149	607
合計	20,694	12,076	32,770	10,153
目標達成率 (%)	8.6	7.1	8.0	7.3
計画量	240,000	170,000	410,000	140,000

注)*印は前月又は前年同月実績がなかったことを示す。

【令和6年4月の需給動向】

- 松くい虫被害エリアは伐採制限（6月以降伐採禁止）もあり、制限前のアカマツ出材が多い状況。しかし、各合板工場の生産調整（減産）は継続しており、依然納入は厳しい。
- 製材・集成材用スギ原木は不足感もあり、出材が順調！今後も不足状況が続く見込み。

耳からウロコ

名曲 ヨグソミネバリ?2号

— 本当はミズメ2号、桜の季節 —

兄弟デュオ「狩人」の名曲「明日私

は旅に出ます あなたの知らないひとと二人で つかあなたと行くはずだった 春まだ浅い信濃路へ♪」は、あ

ずさ2号である。木の名前でのアズサは、「ミズメ」の別称である。ミズメ桜ともいわれるが、本当はカバノキ科である。桜と樹皮が似ているからとも言われる。漢字だと水目、水芽で樹皮を傷つけると水のような樹液が出るが、成分に澀布薬（サリチル酸メチル）の芳香がするため、作業道を歩いていても、香りだけでミズメがあるなどわかる。このミズメの別称が、アズサとヨグソミネバリである。そうか、アズサ2号でなく、ヨグソミネバリ2号だったかも知れない。

しかし、この名曲ヒットのあとに、8時ちようどの新宿発のあずさ2号は消滅する。国鉄が上りと下りを入れ替えたからである。今は、歌詞通りのあずさ2号には乗れない。

ミズメと似ている名前が「ミズキ」である。こちらも枝を切ると大量の水

のような樹液が出る。今でも、東北名産のこけしの材料であるが、私の記憶では、彼岸にミズキの枝に小さい色とりどりの餅を飾って、神棚に飾ったことを思い出す。日本の風習に関わる木である。

一方、同じような名称の木がある。「ハナミズキ」である。東日本大震災後、被害が甚大だった岩手県陸前高田市では、避難路をわかりやすくするため、ハナミズキが植えられ、ここをたどって避難することとされた。

そこで、ハナミズキは、古くから日本にある？実はアメリカのワシントンDCに日本の桜の木を寄贈した御礼に、アメリカから贈られたものである。日本の桜前線と同様に、ハナミズキ前線という山の花の代表である。樹木学的にはミズキ科ミズキ属ヤマボウシ亜種といわれ、和名では、アメリカヤマボウシと言われる。本当に白い花はキレイである。

ミズメもミズキもハナミズキも水がポイントである。そういえば、あずさ2号と同様に、こちらも名曲と縁がある。「薄紅色の可愛い君の♪君と好きな人が、百年続きますように♪」一青窈が歌う真に曲名「ハナミズキ」である。